

令和2年度第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画支援策関係部局取組状況

1. 栄養・食生活/第2次狭山市食育推進計画

【基本目標1】 食からすこやかなところからだをつくります。

(取り組み1) 食事づくり力を高め、健康な食生活を営みます。 (「◎」は重点支援策です。)

ライフ ステージ	No.	私たち一人ひとりが行うこと (市民の行動目標)	健康づくりのための支援策 (市の支援策)	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和元年度評価		令和2年度評価		アンケート の実施 (令和2年度評価)	関係部局
					R元年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点	R2年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
全体	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、朝食を食べます。 ・「主食・主菜・副菜」をそろえた食事をします。 ・大人も子どもも、しっかり副菜料理を食べます。(大人は1日5皿以上) ・減塩に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食や「主食・主菜・副菜」をそろえること、副菜をしっかり食べることで、減塩の重要性について、広報紙、市ホームページなど、様々な機会を利用して情報と学習の場を提供します。 	健康診査実施後、受診者の方が食生活の改善を図る取り組みへつなげるためのリーフレットを配布する。	特定健康診査及び後期高齢者健康診査の受診者全員に配布	4	特定健康診査及び後期高齢者健康診査の受診者全員に配布	4	実施していない	保険年金課
				<ul style="list-style-type: none"> ・市民自身の食生活を振り返る機会を提供し、食生活の改善を図るため、健康づくり講座を通じて、規則正しい食生活、バランスの取れた食事の重要性を伝える。 	おりびい健康マイレージの参加者を対象に健康づくり講座を開催。 食生活に係る講座 1回 参加者 81人	5	健康づくり講座実施回数 0回 参加者数 0名	コロナ 未実施	実施していない	健康づくり支援課
				乳幼児健診やマタニティスクール等の母子保健事業と、各種生活習慣病予防教室等の成人保健事業において啓発する。 ホームページの充実等を図り、情報や学習の場の提供を進める。	マタニティスクール7回55人、ばくばくベビー5回71人、乳幼児健康相談(栄養相談)12回228人、4か月児健診(栄養相談)15回37人、離乳食講習会26回814人、1歳6か月児健診15回843人(おやつ指導+栄養相談)、3歳児健診15回924人(エフロンシアター+栄養相談)、ぴよんぴよんルーム10回22人(栄養相談)、特別搾乳幼児相談6回9人(栄養相談)、糖尿病予防教室1コース6回延べ65人、血管いきいき教室1コース6回延べ89人、健康はなまる講座2コース延べ37人、シェイプアップ体操10回51人、にこにこランチ4回22人、減量個別相談28回74人、健診時特定保健指導25回94人、訪問型特定保健指導19人、一般健康相談26回延べ54人、骨粗しょう症健診ミニ講座24回245人、骨折予防教室(栄養)2回57人	4	マタニティスクール5コース51人、ばくばくベビー5回38人、乳幼児健康相談(栄養相談)10回147人、4か月児健診(栄養相談)17回52人、離乳食講習会17回426人、1歳6か月児健診17回765人(食育講習会+栄養相談)、3歳児健診17回945人(食育講習会+栄養相談)、ぴよんぴよんルーム8回11人(栄養相談)、特別搾乳幼児相談9回16人(栄養相談)、糖尿病予防教室1コース5回延べ40人、血管いきいき教室1コース5回延べ40人、健康はなまる講座1コース延べ9人、シェイプアップ体操6回28人、にこにこランチ3回9人、減量個別相談22回107人、一般健康相談18回延べ49人、骨粗しょう症健診ミニ講座24回245人、骨折予防教室(栄養)2回47人	4		保健センター

令和2年度第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画支援策関係部局取組状況

1. 栄養・食生活/第2次狭山市食育推進計画

【基本目標1】 食からすこやかなところからだをつくります。

(取り組み1) 食事づくり力を高め、健康な食生活を営みます。 (「◎」は重点支援策です。)

ライフ ステージ	No.	私たち一人ひとりが行うこと (市民の行動目標)	健康づくりのための支援策 (市の支援策)	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和元年度評価		令和2年度評価		アンケート の実施 (令和2年度評価)	関係部局
					R元年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点	R2年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
全体	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、朝食を食べます。 ・「主食・主菜・副菜」をそろえた食事をします。 ・大人も子どもも、しっかり副菜料理を食べます。(大人は1日5皿以上) ・減塩に取り組めます。 	◎副菜料理の摂取量アップと減塩について、関係機関、団体と連携して取り組みを進めます。	<p>狭山元気プラザにて1dayシェフ方式によるコミュニティカフェを運営し、地場産の野菜を使用した、安心・安全で栄養バランスが取れた一食を提供する。</p>	<p>狭山元気プラザコミュニティカフェ 運営者:市民大学修了生で組織された団体、修了者が中心となって活動している団体 利用者:誰でも利用可 運営日数:213日 人数: 8,398人</p>	5	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施しない。</p>	コロナ未実施	実施していない	協働自治推進課
				<p>工業会等関係団体と連携し、市内企業へ副菜料理の摂取量アップと減塩に関する情報提供を行う。</p>	<p>毎年度2回以上の情報提供を実施する。</p>	3	<p>毎年度2回以上の情報提供を実施する。</p>	3	実施していない	産業振興課
				<p>商工会議所を通し、生鮮三品(鮮魚・食肉・青果)組合が行う共同販売事業を支援する。</p>	<p>平成30年度で事業終了</p>		<p>平成30年度で事業終了</p>			商業観光課
				<p>保育所の給食献立を「主食・主菜・副菜」で提供。給食の食塩相当量の目標量を設定し、減塩につとめる。また、「主食・主菜・副菜」で献立表を作成し、給食日より、園日より、新入児説明会、保護者懇談会等で児童及び保護者に啓発する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所の給食で実施。 ・公立保育所給食日より年12回発行、園日より年12回発行。 ・公立保育所新入児説明会、保護者懇談会で保護者に随時、「主食・主菜・副菜」、「減塩の工夫」について啓発。 ・市内保育施設へ「主食・主菜・副菜」、「減塩」について啓発する。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所の給食で実施した。 ・公立保育所給食日より年12回発行、園日より年12回発行、クラス日より年6回程度発行した。 ・公立保育所新入児説明会、保護者個人面談で保護者に随時、「主食・主菜・副菜」、「減塩の工夫」について啓発した。 ・市内保育施設へ「主食・主菜・副菜」、「減塩」について啓発した。 	3	実施していない	保育幼稚園課 保育所
				<p>出前講座、老人クラブ体力測定会等の一般介護予防において、自身の食生活を振り返る機会を提供し、食生活の改善や筋力アップを図るために、規則正しい食生活、バランスの取れた食事の重要性を伝える。</p>	<p>・出前講座 1,939人(体力測定会の人数含む)</p>	3	<p>出前講座706人(体力測定の人 数含む)</p>	2	実施していない	長寿安心課
				<p>狭山市生涯学習まちづくり出前講座事業において、講座メニューの発行及び、広報を行い、事業の利用促進に努める。</p>	<p>実施回数:280回 参加延人数:25,073人</p>	2	<p>実施回数:151回 参加延人数:12,251人</p>	2	実施していない	社会教育課
				<p>日常生活を見直し健康維持についての意識の向上を目的に、市内の関連機関と連携し、様々な食材の栄養について学習し、生活習慣の改善に効果のある献立などを学ぶ。</p>	<p>健康料理講座(埼玉県心会病院共催)R1年5月(20人)、9月(20人)、12月(21人)全3回実施</p>	5	<p>健康料理講座(埼玉県心会病院共催)</p>	コロナ未実施	実施していない	中央公民館
				<p>地域児童の学び・遊び・食の事業の中で、地域の大人と子どもと一緒に食事をしながら世代間交流を図り、正しい食卓のルールやマナーを会食する機会を提供する。</p>	<p>WAKU☆DOKIはっぴーを実施 水富公民館会場 9回/年 216名参加 広瀬公民館会場 7回/年 223名参加</p>	5	<p>WAKU☆DOKIはっぴーを実施 水富公民館会場 5回/年 216名参加 広瀬公民館会場 7回/年 223名参加</p>	5		水富公民館

令和2年度第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画支援策関係部局取組状況

1. 栄養・食生活/第2次狭山市食育推進計画

【基本目標1】 食からすこやかなところとからだをつくります。

(取り組み1) 食事づくり力を高め、健康な食生活を営みます。 (「◎」は重点支援策です。)

ライフ ステージ	No.	私たち一人ひとりが行うこと (市民の行動目標)	健康づくりのための支援策 (市の支援策)	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和元年度評価		令和2年度評価		アンケート の実施 (令和2年度評価)	関係部局
					R元年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点	R2年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
全体	2	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、朝食を食べます。 「主食・主菜・副菜」をそろえた食事をします。 大人も子どもも、しっかり副菜料理を食べます。(大人は1日5皿以上) 減塩に取り組みます。 	◎副菜料理の摂取量アップと減塩について、関係機関、団体と連携して取り組みを進めます。	小・中学校とも給食指導を通して、主食・主菜・副菜をバランス良く食べることを指導している。また、小学校では栄養教諭及び学校栄養職員と担任が連携を図り、発達段階に合わせた栄養のバランスについての正しい知識を習得させるとともに朝ごはんの大切さについて指導を行う。	全小中学校23校で推進	4	全小中学校23校で推進	4	実施していない	教育指導課
				「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムの大切さを懇談会、長期休業前後の始業式、終業式等で保護者に直接伝える。また、朝食の欠食の状況を把握し、午前中の活動量の低下等、幼児の姿を通してデメリットを個別に保護者に伝え、毎日朝食を食べさせるように促す。	懇談会4回 始業式、終業式6回 園だより、クラスだより12回 年少保護者対象お弁当参観1回	4	懇談会4回 始業式、終業式6回 園だより、クラスだより12回	4	実施していない	入間川幼稚園
				懇談会や園だより等の通信を通して、保護者に向けて朝食や副菜料理の摂取の大切さを伝える。また、弁当参観を実施し、バランスの良い弁当の参考となるよう機会を作る。	年少保護者対象お弁当参観2回	4	懇談会4回 園だより、クラスだより12回 年少保護者対象お弁当参観4回	4	実施していない	水富幼稚園
				小・中学校とも給食指導を通して、主食・主菜・副菜をバランス良く食べることを指導する。また、小学校では栄養教諭及び学校栄養職員と担任が連携を図り、発達段階に合わせた栄養のバランスについての正しい知識を習得させるとともに朝ごはんの大切さについて指導を行う。	全小中学校23校で推進	4	全小中学校23校で推進	4	実施していない	全小中学校
				給食だより、試食会等でバランスの良い食事や副菜料理の大切さについて伝える。	給食センター見学会を開催参加360人	4	新型コロナウイルスの影響で、給食センターのイベント・8月まで給食だよりの発行を中止。また、試食見学会は、今年度中止のため、放送用資料を作成し、各学校へ提供する。	1	実施していない	学校給食センター
				規則正しくバランスのとれた食生活の重要性を市民に広めるため、健康づくりに取り組む市民団体の活動を支援し、その活動の中で副菜料理による野菜摂取量の重要性と減塩に気を配った食事を市民が学習する機会を提供する。	健康づくり推進協議会 ・料理教室 19回 ・参加者数 561人	5	健康づくり推進協議会 ・料理教室 0回 ・参加者数 0人	コロナ未実施	実施していない	健康づくり支援課
				健康づくり推進協議会や公民館等とタイアップした事業を展開する。	健康づくり推進協議会会員研修1回35人 すこやか推進員研修1回18人	4	健康づくり推進協議会会員研修すこやか推進員研修	コロナ未実施		保健センター

令和2年度第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画支援策関係部局取組状況

1. 栄養・食生活/第2次狭山市食育推進計画

【基本目標1】 食からすこやかなところからだをつくります。

(取り組み1) 食事づくり力を高め、健康な食生活を営みます。 (「◎」は重点支援策です。)

ライフ ステージ	No.	私たち一人ひとりが行うこと (市民の行動目標)	健康づくりのための支援策 (市の支援策)	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和元年度評価		令和2年度評価		アンケート の実施 (令和2年度評価)	関係部局
					R元年度の対象者、事業者、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点	R2年度の対象者、事業者、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
乳 幼 児 期	3	・空腹や満腹の様子を感じとって、授乳や食事を進めます。	・マタニティスクールや乳幼児健診時などで、空腹等、子どもの様子を感じ取って授乳や食事を進めることを支援します。	マタニティスクール、ばくばくベビー、乳幼児健診時等において実施。	マタニティスクール7回55人、ばくばくベビー5回71人、乳幼児健康相談(栄養相談)12回228人、4か月児健診(栄養相談)15回37人、離乳食講習会26回814人、1歳6か月児健診15回843人(おやつ指導+栄養相談)、3歳児健診15回924人(エプロンシアター+栄養相談)、びよんびよんルーム10回29人(全件)、特別搾乳幼児相談6回9人(栄養相談)、母乳相談26回94人	4	マタニティスクール5コース51人、ばくばくベビー5回38人、乳幼児健康相談(栄養相談)10回147人、4か月児健診(栄養相談)17回52人、離乳食講習会17回426人、1歳6か月児健診17回765人(食育講習会+栄養相談)、3歳児健診17回945人(食育講習会+栄養相談)、びよんびよんルーム8回11人(栄養相談)、特別搾乳幼児相談9回16人(栄養相談)、母乳相談28回86人	4		保健センター
	4	・大人の「夜型」の生活にならないよう生活リズムを整えます。	・「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムと習慣が、発育・発達に大切であることを知らせます。	保健師、栄養士などの専門職と連携し、生活リズムと習慣についての話、発育・発達相談も含め子育て講座を開催。(年間各2回)その他、月1回発行の「ちゃっぼ通信」等で生活リズム・生活習慣の大切さなどを知らせる。	対象:未就学児の親子「保健師・栄養士とおしゃべり会」(各年2回)124人「ちゃっぼ通信」(月1回発行)	5	対象:未就学児の親子「保健師・栄養士とおしゃべり会」(各年2回)「ちゃっぼ通信」(月1回発行)	4	実施していない	総合子育て支援センター
				給食だよりや園だより、新入児説明会、保護者懇談会、連絡帳等で、児童及び保護者に対して啓発する。	・公立保育所の児童と保護者を対象に、機会があるごとに随時実施。 ・公立保育所園だより年12回発行、給食だより年12回発行。 ・市内保育施設へ「早寝・早起き・朝ごはん」について啓発する。	3	・公立保育所の児童と保護者を対象に、機会があるごとに随時実施。 ・公立保育所園だより年12回発行、クラスだより年6回程度発行、給食だより年12回発行した。 ・市内保育施設へ「早寝・早起き・朝ごはん」について啓発した。	3	実施していない	保育幼稚園課 全保育所
				睡眠の大切さと共に生活リズムを整えることを懇談会等の保護者の集い時に直接伝えたり、専門家による指導(歯科衛生士)を行ったりする。また、園だより・クラスだよりを通じて周知を図る。	懇談会4回 保健ニュースの掲示 専門家の指導1回 園だより、クラスだより12回	4	懇談会4回 始業式、終業式6回 園だより、クラスだより12回	4	実施していない	入間川幼稚園
				懇談会、園だより、クラス便り等で保護者に知らせたり、園児に、絵本や紙芝居等を活用したり、掲示物を工夫したり、分かりやすく伝える。	保護者対象懇談会 4回、園だより、クラス便り12回、園児対象絵本の読み聞かせ、「保健ニュース」の掲示	4	懇談会4回 園だより、クラスだより12回 絵本の読み聞かせ 保健ニュースの掲示	4	実施していない	水富幼稚園
5	・イオン飲料、乳酸菌飲料、ジュースなどの甘味飲料の取り方を知らせます。	・歯科保健事業と連携し、マタニティスクールや乳幼児健診時に、適切な菓子や甘味飲料の取り方を知らせます。	マタニティスクール、乳幼児健診時等において実施。	マタニティスクール7回55人、1歳6か月児健診15回843人(おやつ指導+栄養相談)、3歳児健診15回924人(エプロンシアター+栄養相談)、びよんびよんルーム10回29人(全件)	4	マタニティスクール5コース51人、1歳6か月児健診17回765人(食育講習会+栄養相談)、3歳児健診17回945人(食育講習会+栄養相談)、びよんびよんルーム8回11人	4		保健センター	

令和2年度第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画支援策関係部局取組状況

1. 栄養・食生活/第2次狭山市食育推進計画

【基本目標1】 食からすこやかなところとからだをつくります。

(取り組み1) 食事づくり力を高め、健康な食生活を営みます。 (「◎」は重点支援策です。)

ライフ ステージ	No.	私たち一人ひとりが行うこと (市民の行動目標)	健康づくりのための支援策 (市の支援策)	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和元年度評価		令和2年度評価		アンケート の実施 (令和2年度評価)	関係部局
					R元年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点	R2年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
乳幼児期	6	・繰り返し「主食・主菜・副菜」を体験できるように食卓を整えます。	・乳幼児健診時において、「主食・主菜・副菜」の組み合わせ方と大切さについて知らせていきます。 ・保育所給食を「主食・主菜・副菜」で提供します。	保育所の給食献立を「主食・主菜・副菜」で提供する。また、献立表も「主食・主菜・副菜」で作成し保護者に配布。献立表は保育幼稚園課ホームページに掲載する。	・公立保育所の給食で実施。 ・公立保育所の献立表を毎月保護者に配布、ホームページに掲載。 ・市内保育施設へ「主食・主菜・副菜」を啓発する。	3	・公立保育所の給食で実施。 ・公立保育所の献立表を毎月保護者に配布、ホームページに掲載。 ・市内保育施設へ「主食・主菜・副菜」を啓発する。	3	実施していない	保育幼稚園課 全保育所
				乳幼児健診やマタニティスクール等の母子保健事業において啓発する。ホームページの充実等を回り、情報や学習の場の提供を進める。	マタニティスクール7回55人、ばくばくベビー5回71人、乳幼児健康相談(栄養相談)12回228人、4か月児健診(栄養相談)15回37人、離乳食講習会26回814人、1歳6か月児健診15回843人(おやつ指導+栄養相談)、3歳児健診15回924人(エプロンアター+栄養相談)、びよんびよんルーム10回22人(栄養相談)、特別枠乳幼児相談6回9人(栄養相談)	4	マタニティスクール5コース51人、ばくばくベビー5回38人、乳幼児健康相談(栄養相談)10回147人、4か月児健診(栄養相談)17回52人、離乳食講習会17回426人、1歳6か月児健診17回765人(食育講習会+栄養相談)、3歳児健診17回945人(食育講習会+栄養相談)、びよんびよんルーム8回11人(栄養相談)、特別枠乳幼児相談9回16人(栄養相談)	4	保健センター	
学童・思春期	7	・「主食・主菜・副菜」をそろえて食べます。 ・積極的に副菜料理を食べます。	・保健体育、家庭科、学級活動、総合的な学習の時間などにおいて食の指導を行います。 ・学校給食を「主食・主菜・副菜」で提供します。 ・献立表、給食だよりやリーフレットで、情報を伝えます。	小学校中学年では「バランスの良い食事(保健体育)」についての知識を習得し、小学校高学年・中学校では、より広い知識と技能を身につけ(保健体育・家庭科)、1食分の食事について計画を立て、調理実習等も行う(家庭科・学級活動・総合等)。年間指導計画に食の指導を位置づけ、計画的に推進する。	全小中学校23校で推進	5	全小中学校23校で推進	5	実施していない	教育指導課
				小学校中学年では「バランスの良い食事(保健体育)」についての知識を習得し、小学校高学年・中学校では、より広い知識と技能を身につけ(保健体育・家庭科)、1食分の食事について計画を立て、調理実習等も行う(家庭科・学級活動・総合等)。年間指導計画に食の指導を位置づけ、計画的に推進する。	全小中学校23校で推進	5	全小中学校23校で推進	5	実施していない	全小中学校
				「主食・主菜・副菜」で献立作成し、小中学校の授業、献立表、給食だより等で情報を伝える。	小・中学校の授業で6校24クラス31時間を実施。	4	小・中学校の授業で7校23クラス32時間を実施	4	実施していない	学校給食センター
				小学校就学児の保護者、小学校低・中学年、高学年、中学生別にリーフレットを作成し、配布。	・全小学校1、5年、就学児保護者と全中学校1年に朝食啓発リーフレットを配布。計5,940枚 ・全中学校1年、全小学校3年に食事づくり力を高めるためのリーフレットを配布。計3,080枚	4	・全小学校1、5年、就学児保護者と全中学校1年に朝食啓発リーフレットを配布。計5,460枚 ・全中学校1年、全小学校3年に食事づくり力を高めるためのリーフレットを配布。計2,950枚	4	保健センター	

令和2年度第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画支援策関係部局取組状況

1. 栄養・食生活/第2次狭山市食育推進推進計画

【基本目標1】 食からすこやかなところからだをつくります。

(取り組み1) 食事づくり力を高め、健康な食生活を営みます。 (「◎」は重点支援策です。)

ライフステージ	No.	私たち一人ひとりが行うこと (市民の行動目標)	健康づくりのための支援策 (市の支援策)	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和元年度評価		令和2年度評価		アンケートの実施 (令和2年度評価)	関係部局	
					R元年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点	R2年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点			
学童・思春期	8	・ファーストフードやスナック菓子などを極力控え、家庭の食事をおいしく食べられるようにします。	・保健体育、家庭科、学級活動、総合的な学習の時間などにおいて食の指導を行います。	保健体育・家庭科を通し、日常生活における間食の在り方について考え、糖分・塩分の過度な摂取が健康被害に起因することへの知識を習得させるよう、各学校への指導を促す。また、各学校の実態に合わせ、学級活動、総合的な学習等の中で、年間指導計画に食の指導を位置づけ、計画的に推進する。	全小中学校23校で推進、実施	5	全小中学校23校で推進	5	実施していない	教育指導課	
				保健体育・家庭科を通し、日常生活における間食の在り方について考え、糖分・塩分の過度な摂取が健康被害に起因することへの知識を習得させるよう、各学校への指導を促す。また、各学校の実態に合わせ、学級活動、総合的な学習等の中で、年間指導計画に食の指導を位置づけ、計画的に推進する。	全小中学校23校で推進、実施	5	全小中学校23校で推進	5	実施していない	全小中学校	
				小中学校で授業を実施する。	小学校1校にて授業を実施	2	小学校1校1クラスにて授業を実施	2	実施していない	学校給食センター	
	9	・大人の「夜型」の生活にならないよう生活リズムを整えます。	・「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムと習慣が発育・発達に大切であることを知らせます。	児童生徒への「早寝・早起き・朝ごはん」週間を設け、もしくはそれに代わる週間日を設け、各家庭での啓発活動を実施する。また、学校保健委員会を実施し、保護者への「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムと習慣が発育・発達に大切であることを促す。	全小中学校23校で推進、実施	5	全小中学校23校で推進	5	実施していない	教育指導課	
				児童生徒への「早寝・早起き・朝ごはん」週間を設け、もしくはそれに代わる週間日を設け、各家庭での啓発活動を実施する。また、学校保健委員会を実施し、保護者への「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムと習慣が発育・発達に大切であることを促す。	全小中学校23校で推進、実施	5	全小中学校23校で推進	5	実施していない	全小中学校	
				小学校就学児の保護者、小学校低・中学年、高学年、中学生別にリーフレットを作成し、配布。	全小学校1、5年、就学児保護者と全中学校1年に朝食啓発リーフレットを配布。計5,940枚	4	全小学校1、5年、就学児保護者と全中学校1年に朝食啓発リーフレットを配布。計5,460枚	4		保健センター	
	10	・食事づくりやその手伝いに積極的に取り組みます。	・家庭科の学習や学級活動などを通じて、家庭での食事づくりの手伝いを促します。 ・基本的な食事づくりを指導します。 ・給食を生きた教材として活用します。	家庭科の学習を通して、日常生活に必要な知識や技能についての定着を図る。また、児童生徒が食事の栄養バランスを考えながら調理をすることを推奨し、家族の一員として自分にできることは自分で行うよう促す。	全小中学校23校で推進、実施	5	全小中学校23校で推進	5	実施していない	教育指導課	
				家庭科の学習を通して、日常生活に必要な知識や技能についての定着を図る。また、児童生徒が食事の栄養バランスを考えながら調理をすることを推奨し、家族の一員として自分にできることは自分で行うよう促す。	全小中学校23校で推進、実施	5	全小中学校23校で推進	5	実施していない	全小中学校	
				学校給食を教材として、小中学校の授業を実施する。	給食の枝豆のさやむきを小学校3校8クラス・とうもろこしの皮むきを4校13クラスで実施。	5	新型コロナウイルス影響で、給食用食材を活用した授業は今年度中止。 コロナ未実施		実施していない	学校給食センター	
	11	・食事づくり力を高めるための情報を伝え、学習の場を提供します。	・食事づくり力を高めるための講座やホームページ、リーフレット等を利用して情報発信する。	・子どもお弁当教室3回52人。 ・全中学校1年、全小学校3年に食事づくり力を高めるためのリーフレットを配布。計3,080枚	4	・子どもお弁当教室未実施 ・全中学校1年、全小学校3年に食事づくり力を高めるためのリーフレットを配布。計2,950枚	3		保健センター		
	学童・思春期	12	・健康なボディイメージをもち、肥満や過度なダイエットの害について理解します。	・身体測定や健康カードを活用し、適正体重について指導します。 ・肥満や過度のダイエットの害について、便りなどを活用し啓発を図ります。	健康な心と体を維持するために必要な「食事・睡眠・適切な運動」の大切さについて指導する。また、身体測定による健康カードを活用し、児童生徒の状態を各家庭へ周知する中、生活リズムの見直しの必要な児童生徒の保護者に対し、養護教諭と連携し、協力を求めるように促す。	全小中学校23校で推進、実施	5	全小中学校23校で推進	5	実施していない	教育指導課
					健康な心と体を維持するために必要な「食事・睡眠・適切な運動」の大切さについて指導する。また、身体測定による健康カードを活用し、児童生徒の状態を各家庭へ周知する中、生活リズムの見直しの必要な児童生徒の保護者に対し、養護教諭と連携し、協力を求めるように促す。	全小中学校23校で推進、実施	5	全小中学校23校で推進	5	実施していない	全小中学校
小中学校の授業および肥満指導等を実施する。					1校親子5組に肥満指導を実施。	2	中学校1校4クラスで実施	3	実施していない	学校給食センター	

令和2年度第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画支援策関係部局取組状況

1. 栄養・食生活/第2次狭山市食育推進推進計画

【基本目標1】 食からすこやかなところからだをつくります。

(取り組み1) 食事づくり力を高め、健康な食生活を営みます。 (「◎」は重点支援策です。)

ライフ ステージ	No.	私たち一人ひとりが行うこと (市民の行動目標)	健康づくりのための支援策 (市の支援策)	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和元年度評価		令和2年度評価		アンケート の実施 (令和2年度評価)	関係部局
					R元年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点	R2年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
青・ 壮年期	13	・男性も女性も食事づくりをします。	・食事づくり力を高めるための情報を伝え、学習の場を提供します。 ・栄養、食生活について学習できる場を提供します。	<p>さやま市民大学の「健康づくりサポーター養成講座」にて、健康づくりのための食事と栄養について、講義と演習を通して学習をすることができる。</p>	<p>事業名:さやま市民大学事業「健康づくりサポーター養成講座」 対象者:市内在住・在勤・在学・市内で活動をしている方のいずれかで16歳以上の方 実施回数:30回 受講者数:8人</p>	4	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施しない。</p>	コロナ未実施	実施していない	協働自治推進課
				<p>狭山市生涯学習まちづくり出前講座事業において、講座メニューの発行及び、広報を行い、事業の利用促進に努める。</p>	<p>実施回数:280回 参加延人数:25,073人</p>	2	<p>実施回数:151回 参加延人数:12,251人</p>	2	実施していない	社会教育課
				<p>日常生活を見直し健康維持についての意識の向上を目的に、市内の関連機関と連携し、様々な食材の栄養について学習し、生活習慣の改善に効果のある献立などを学ぶ。</p>	<p>健康料理講座(埼玉石心会病院共催)R1年5月(20人)、9月(20人)、12月(21人)全3回実施</p>	5	<p>健康料理講座(埼玉石心会病院共催)</p>	コロナ未実施	実施していない	中央公民館
				<p>世界各国の料理講座を通して、日本文化を改めて勉強する。普段とは異なるメニューを教わる中で、栄養・食生活について学ぶ機会を設ける。</p>	<p>異色文化料理教室「クリスマス&年末ストック料理」開催全2回 参加者28人</p>	5	<p>異色文化料理教室開催全2回 参加者30人</p>	コロナ未実施	実施していない	狭山台公民館
				<p>学校給食を通して、地産地消、食の安全安心、衛生管理、栄養管理などを学ぶ。 所長、管理栄養士による説明とDVD鑑賞および質疑応答により疑問点の解消と知識の研鑽を積む。</p>						狭山台公民館
				<p>健康づくりに取り組む市民団体の活動を支援するとともに、その活動の中で男性料理教室を開催し、食事づくりに関する知識を広める。</p>	<p>健康づくり推進協議会による男性料理教室を1回実施。 参加者:30人</p>	5	<p>健康づくり推進協議会による男性料理教室を0回実施。 参加者:0人</p>	コロナ未実施	実施していない	健康づくり支援課
				<p>食事づくり力を高めるための講座やホームページ、リーフレット等を利用して情報発信する。 マタニティスクール等の母子保健事業と、各種生活習慣病予防教室等の成人保健事業において実施。</p>	<p>マタニティスクール7回55人、糖尿病予防教室1コース6回延べ65人、血管いきいき教室1コース6回延べ89人、健康はなまる講座2コース延べ37人、シェイプアップ体操10回51人、にこにこランチ4回22人、健康料理教室5回延べ68人</p>	4	<p>マタニティスクール5コース51人、糖尿病予防教室1コース5回延べ40人、血管いきいき教室1コース5回延べ40人、健康はなまる講座1コース2回延べ9人、シェイプアップ体操6回28人、にこにこランチ3回9人</p>	4		保健センター
青・ 壮年期	14	・健診結果を活用し、食生活の改善に活かします。	・健診結果活用の情報提供と相談、学習の機会を充実します。 ・適正体重を知り、適正体重維持のための具体的な取り組み方法について、学習の機会を設けます。	<p>健康診査実施後、受診者の方が食生活の改善を図る取り組みへつなげるためのリーフレットを配布。</p>	<p>特定健康診査及び後期高齢者健康診査の受診者全員に配布</p>	4	<p>特定健康診査及び後期高齢者健康診査の受診者全員に配布</p>	4	実施していない	保険年金課
				<p>各種生活習慣病予防教室等の成人保健事業において実施。</p>	<p>糖尿病予防教室1コース6回延べ65人、血管いきいき教室1コース6回延べ89人、健康はなまる講座2コース延べ37人、シェイプアップ体操10回51人、にこにこランチ4回22人、減量個別相談28回74人、訪問型特定保健指導19人、健診時特定保健指導25回94人、一般健康相談26回延べ54人、骨粗しょう症健診ミニ講座24回245人</p>	4	<p>糖尿病予防教室1コース5回延べ40人、血管いきいき教室1コース5回延べ40人、健康はなまる講座1コース2回延べ9人、シェイプアップ体操6回28人、にこにこランチ3回9人、減量個別相談22回107人、訪問型特定保健指導未実施、一般健康相談18回延べ49人、骨粗しょう症健診ミニ講座24回245人</p>	4		保健センター

令和2年度第3次健康日本21狭山市計画・第2次狭山市食育推進計画支援策関係部局取組状況

1. 栄養・食生活/第2次狭山市食育推進計画

【基本目標1】 食からすこやかなところとからだをつくります。

(取り組み1) 食事づくり力を高め、健康な食生活を営みます。 (「◎」は重点支援策です。)

ライフ ステージ	No.	私たち一人ひとりが行うこと (市民の行動目標)	健康づくりのための支援策 (市の支援策)	支援策(もしくは事業)の目的及び具体的実施内容	令和元年度評価		令和2年度評価		アンケート の実施 (令和2年度評価)	関係部局
					R元年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点	R2年度の対象者、事業人、参加者数や事業実施回数等の実績数	達成度 5点満点		
高齢期	15	・低栄養の予防のために、主菜料理を毎食食べます。また、食事を3食食べます。	・食事をおいしく食べられる場を提供します。 ・高齢期の食事についての情報提供と、学習の場を提供します。	出前講座、老人クラブ体力測定会等の一般介護予防において、自身の食生活を振り返る機会を提供し、食生活の改善や筋力アップを図るために、規則正しい食生活、バランスの取れた食事の重要性を伝える。	・出前講座 1,939人(体力測定会の人数含む)	3	出前講座706人(体力測定の人を含む)	2	実施していない	長寿安心課
				狭山市生涯学習まちづくり出前講座事業において、講座メニューの発行及び、広報を行い、事業の利用促進に努める。	実施回数:280回 参加延人数:25,073人	2	実施回数:151回 参加延人数:12,251人	2	実施していない	社会教育課
				日常生活を見直し健康維持についての意識の向上を目的に、市内の関連機関と連携し、様々な食材の栄養について学習し、生活習慣の改善に効果のある献立などを学ぶ。	健康料理講座(埼玉石心会病院共催)R1年5月(20人)、9月(20人)、12月(21人)全3回実施	5	健康料理講座(埼玉石心会病院共催)	コロナ未実施	実施していない	中央公民館
				参加者の皆さんが楽しく料理を学ぶとともに、生きがいづくりに貢献することを目的に実施する。	対象者:概ね60歳以上 事業人:まだまだ青年講座「料理教室」 実施回数:0回 参加者数:0人 ※令和元年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止	5	対象者:概ね60歳以上 事業人:まだまだ青年講座「料理教室」 実施回数:0回 募集人数:0人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	コロナ未実施	実施していない	柏原公民館
				一人暮らし高齢者を対象とした食事会を実施し、孤食ではない場を提供するとともに健康づくりについての啓発も行った。	対象者:一人暮らし 会場:水富公民館、広瀬公民館、笹井自治会館 参加者数:226人	5	※新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止	コロナ未実施		水富公民館
				高齢期の栄養摂取の重要性について、健康づくり講座や健康づくり団体の活動の中で市民に周知する。	健康づくり推進協議会 ・料理教室 19回 ・参加者数 561人	5	健康づくり推進協議会 ・料理教室 0回 ・参加者数 0人	コロナ未実施	実施していない	健康づくり支援課
				高齢期の食事についての講座やホームページ等を利用して情報を発信する。	<65歳以上の>健康はなまる講座、シェイプアップ体操、にこにこランチ、減量個別相談計115人、一般健康相談15回延べ32人、骨折予防教室(栄養)2回45人	4	<65歳以上の>健康はなまる講座・シェイプアップ体操・にこにこランチ・減量個別相談計129人、一般健康相談13回31人、骨折予防教室(栄養)2回47人	4		保健センター